

タウンピックアップ



▲図書館に勤務した生徒達。読み聞かせに挑戦。

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

市内4中学校の2年生467名が6月6日から5日間、それぞれ162か所の受入事業所に出勤しました。

「トライやる・ウィーク」は平成10年から始まり、今年で14回目。学校をはなれ、事業所や幼稚園・保育所、福祉施設などで地域の方々とふれあい、働くことの楽しさや厳しさを学ぶ、貴重な体験の場となっています。

お気軽に「Comodo (コモド) コンサート in 大信寺」

昨年、国登録文化財に登録された大信寺本堂（北条町北条）を身近に感じてもらおうと6月11日、NPO法人まちづくり北条（松本正光代表）が同寺でコンサートを開催しました。

Comodoとは、イタリア語で「気軽に」という意味です。「はりまストリングアンサンブル」のメンバーがピアノ、ギター、フルートで「上を向いて歩こう」など16曲を演奏。会場に詰めかけた約140名が口ずさむ、和やかなコンサートになりました。



▲美しい音色が響き渡った寺の本堂。



▲各公民館長にゴーヤなどの苗を手渡す児童達。

西在田小児童が緑のカーテンの苗を配布

西在田小学校エコスクールの児童らが育てた、ゴーヤなどの苗が5月31日、「かさい緑のカーテンコンテスト」に取り組む北部、南部、善防公民館の館長に手渡されました。

緑のカーテンは、室内温度を5℃以上も低くする効果があり、夏場の節電にもつながります。同コンテストは、募集期間を延長し、7月29日（金）まで募集中。市役所環境創造課（☎8716）までお問い合わせください。



▲力強く整然と行進する第6分団。

平成23年度消防団訓練礼式大会

加西市民グラウンドで6月19日、第21回加西市消防団訓練礼式大会が開催されました。成績結果は次のとおりです。

- | | | | |
|------|-------|--------|-------|
| ■優勝 | 第6分団 | ■敢闘賞 | 第2分団 |
| ■準優勝 | 第12分団 | | 第9分団 |
| ■3位 | 第10分団 | | 第11分団 |
| | | ■市長特別賞 | 第7分団 |



▲市長賞作品（左）。さつき盆栽など24席を展示。

第43回加西市さつき展

アスティアかさい3階の地域交流センターで6月3日から3日間、第43回加西市さつき展が開催されました。主な受賞者は次の皆さんです。

- | | | |
|--------------|-------|---------|
| ■加西市長賞 | 岡嶋恒男 | （北条町北条） |
| ■加西市議会議長賞 | 宮永茂子 | （王子町） |
| ■衆議院議員賞 | 高井義時 | （北条町横尾） |
| ■兵庫県議会議員賞 | 村田利明 | （西長町） |
| ■加西市さつき同好会長賞 | 友井工ミ子 | （東笠原町） |

歴史ガイド隊第7期生デビュー

羅漢寺で北条小学校歴史ガイド隊第7期生（5・6年生19名）の内17名が6月5日、保護者や岡山県からの観光客らを前に練習の成果を披露しました。

4月末から加西市歴史街道ボランティアガイドの指導の下、練習に励んだ隊員達は、この日初めて人前でガイドをし、緊張しながらも五百羅漢の解説を最後まで立派にやり遂げました。今後は、土日を中心にまちの名所を伝えていきます。



▲「これはなんでしょう？」と問題を出すガイド隊（答・石棺）。



▲呼吸を意識しつつ、ゆっくりと全身を伸ばす児童達

富田小学校でヨガ教室

富田小学校で6月7日、「柔らかくて丈夫な体を作ろう」をテーマに、ヨガ教室が開催されました。

ヨガインストラクター鬼頭直子さん（姫路市）の指導のもと、体育館で全校児童約140名がヨガに挑戦。瞑想的な音楽が流れる中、仰向けになったり、全身をゆっくりと伸ばしたりしました。昨年度から開催するこの授業のせいか、同校では、ねんざなどの怪我が大幅に減ったとのこと。

出来ることで被災地を支援「ハチドリまつり」

東日本大震災の復興支援イベント「ハチドリまつり」が6月5日、日吉神社（池上町）で開催され、多くの人で賑わいました。

アンデスの民話「ハチドリのひとしずく」を基に、一人一人の被災地を支援する心を持ち寄ろうと、NPO法人MORE地球家族（村上尚美代表）が企画。太鼓や海外の楽器演奏のリレーライブ、宮城県岩沼市で振る舞われた豚汁の炊き出しの再現などが行われ、参加者は、小さな行動の集結や継続が、いかに大切かを再確認しました。



▲太鼓の演奏や炊き出しなどが行われた被災地支援まつり。



▲市役所玄関前での出発式（5/27）。夜通し車で被災地の宮城県亶理郡山元町へ。

市内青年団らが被災地の子ども達に遊び支援

市内で活動する青年連絡会「えんどれす」とそのOB会、ジュニアリーダークラブ、市民劇団「おおきな木」から有志9名が5月28日、被災地で遊び支援のボランティアを行いました。

一行は、自ら集めた活動支援金を現地のラジオ局「FMりんご」に届けると共に、避難所の子ども達を元気づけようと、似顔絵を描いたりゲームやバルーンアートをしたりして、楽しい時間も一緒に届けられました。



▲ヴィッセル神戸のコーチ指導のもと、親子でドリブル特訓。

ヴィッセル神戸指導の親子サッカークリニック

オークタウン加西で6月4日、Jリーグで活躍するサッカーチーム「ヴィッセル神戸」の協力を得て「親子サッカークリニック」が開催され、親子29組58名が参加しました。

ヴィッセル神戸のコーチ6名が、参加者を3班に分けて、年齢にあったサッカーを指導。その後、親と子供の対抗戦を行い、サッカーを通じて親子のふれあいを満喫しました。